

並列処理向きプログラミング言語の研究

大阪青山大学 健康科学部健康栄養学科 辰口和保

目的 並列処理機構を効果的に利用し、高速実行が可能なプログラミング言語処理系の開発およびプログラミング手法の開発

内容 論理型言語をターゲットとした高速処理系の実装と処理系に向けたプログラミング手法の開発を行う。

状況 これまでの処理系の問題点について検討し、新たな並列処理方式について考案中。本年度は大型計算機システムを利用しなかった。